

報道関係者 各位

新潟県におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す

新型インフルエンザウイルスについて

新潟県から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスが分離され、薬剤感受性試験により薬剤耐性が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

**「タミフル」耐性を示す新型インフルエンザウイルスが確認されました**

新潟県内において、新型インフルエンザ(インフルエンザ A/H1N1) の感染が確認された2名の患者から、オセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す新型インフルエンザウイルスが確認されましたので、お知らせします。なお、2名の患者の間に関連は認められません。

1 薬剤感受性試験(国立感染症研究所実施、結果連絡：2月24日)

- ・タミフル耐性を確認
- ・ザナミビル(商品名リレンザ)感受性を確認
  - ※耐性：当該の薬剤に対し抵抗性を持ち、効きにくくなること
  - 感受性：当該の薬剤が有効に作用すること

2 患者の概要及び経過

(1) 患者A

ア 概要

10歳未満(幼児)、男児、基礎疾患：なし  
新型インフルエンザワクチン接種：なし

イ 経過

平成 21 年

12月23日 発熱があり、医療機関Aを受診  
インフルエンザと診断(迅速検査：A型陽性)  
タミフル内服

12月26日 解熱

12月27日 再度発熱(39度)し、医療機関Bを受診  
インフルエンザと診断(迅速検査：A型陽性)  
タミフル耐性ウイルスの可能性が疑われ、経過観察のため  
入院(個室)

タミフルは処方されず、点滴治療

12月28日 PCR検査用の検体を採取  
※本検体をタミフル耐性に係る検査及び試験に使用

12月31日 軽快し退院

平成 22 年

1月5日 PCR検査で新型インフルエンザと確認(県内試験研究機関)

2月9日 遺伝子検査でタミフル耐性を示す遺伝子変異を確認  
(県内試験研究機関)

なお、地域への感染拡大や、重症患者は、確認されていない。

## (2) 患者B

### ア 概要

10歳未満（幼児）、男児、基礎疾患：なし

新型インフルエンザワクチン接種：なし

### イ 経過

平成21年

12月25日 発症した家族とともに、医療機関Cを受診  
家族は、インフルエンザとの診断  
当該男児は、軽微な症状だがインフルエンザが疑われ、タミフル内服

12月30日 咳出現

12月31日 発熱（39度）し、医療機関Dを受診  
インフルエンザとの診断（迅速検査：A型陽性）  
呼吸困難な状態のため、入院（個室）、タミフル内服  
PCR検査用の検体を採取  
※本検体をタミフル耐性に係る検査及び試験に使用

平成22年

1月1日 呼吸困難な状態から回復

1月3日 解熱

1月4日 軽快し退院

1月8日 PCR検査で新型インフルエンザと確認（県内試験研究機関）

2月17日 遺伝子検査でタミフル耐性を示す遺伝子変異を確認  
（県内試験研究機関）

なお、地域への感染拡大や、重症患者は、確認されていない

## 3 参考

(1) タミフルに対する耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの重篤度(病原性)には直接影響を及ぼすものではないとされています。(厚生労働省)

(2) 新潟県内で、タミフル耐性を示す持つ遺伝子変異を有するウイルスが確認されたのは5・6例目です。

※検査実施件数：90（2月24日現在）…対象：経過から耐性が疑われる検体

(3) 全国では、タミフル耐性を示す遺伝子変異を有するウイルスの確認については、55例が報告されています（2月24日現在）。

本件についてのお問い合わせ

福祉保健部健康対策課

課長補佐 斎藤（直通）025-280-5339

（内線）2707